

しっかり読んで、ゴキゲンな釣行を!! レンタル釣具 **安心ガイド**

当ガイドは、「明日の釣りに必要なもの」から「釣るための準備と注意点」、「釣り方のコツ」を紹介していますので、一度通して読んで、万全な状態で釣りに出掛けて下さいね!!

★出掛ける前に必要な小物を購入

このリストを釣具店の店員さんに見せて用意しよう!

お買い物リスト

- インターロック付きヨリモドシ
- フィールドブライヤー 1つ
- 偏光サングラス 1つ

市販の仕掛けを2~3つ用意

エサ アオイソメやジャリメ、ゴカイ類1パック

船キス・カレイ釣り用には

- シロギス仕掛け
- カレイ仕掛け
- カサゴ同突き仕掛け

狙う魚に合わせた仕掛けを釣具店、または船宿で買うこと。

船釣り浅場用には

- オモリ 5号~25号までを3~4個
- オモリ 10号~40号までを3~4個

仕掛けをポイントやタナまで運ぶもの。

小型片テンピン

腕長10cm前後を2つくらい

仕掛けをポイントやタナまで運ぶもの。

※釣る魚の水深などで重さや形状が変わるので船宿で確認して購入しよう。

オモリ

仕掛けをポイントやタナまで運ぶもの。

※釣る魚の水深などで重さや形状が変わるので船宿で確認して購入しよう。

★釣るための準備

釣具の特徴と正しいセッティングをマスターして快適な釣行を!

【スピニングリールの特徴】

ベールアームが回転して糸を巻き取るタイプ。

ストッパーレバー 通常はラインを巻き取る方向で固定する。

ベールアーム ここに道糸を通して巻く。キャストする時は開く。

ドラグ ここを締めることで道糸にブレーキがかかる。また緩めると道糸が出やすくなる。

ハンドル 道糸を巻くためのとって。

スピニングリールは、ハンドルを交換して扱いやすいようにしましょう!

ハンドル交換が簡単なスピニングリール。ロッド操作は利き手の方が操作しやすいので、右利きの人は左に。左利きの人は右側にハンドルを変えよう。

- ①ハンドルの反対に付いているキャップを外す。
- ②10円玉などの硬貨でネジを回してネジ止めごと抜き、ハンドルも外す。
- ③ネジとハンドルを入れ替えて差し込み、ネジを締め、キャップを付けて完了。

【ベイトリールの特徴】

スプール(糸巻き)が回転して糸を巻き取るタイプ。

クラッチ クラッチを押すとスピールの回転がフリーになる。仕掛けを投入する時や、道糸を出したい時に使う。

レベルwind スプールに道糸を均等に巻く装置。ハンドルを巻くと、この部分が左右に動く。

ドラグ スピニング同様、回して道糸の出を調整する。

ドラグ調整も行おう

各イラストにあるつまみを回して圧を調整。ファイト中、魚の引きにハリスやリーダーが耐えきれず負ける(切れる)寸前に、ラインが出るようにセットする。詳しくは、ゴールドマニュアルブック133ページをチェック!

【釣具のセッティング】1~4の順でセッしよう

キス・カレイ用(片テンピン仕掛け)

浅場用(胸突き仕掛け)

1 ロッドを組み立てる

穂先から順に継いでいくこと。継ぎ目の根元を持ち、ジョイント部を合わせ、軽くねじ込むように押し込む。ラインを通すガイドを一直線にすることも忘れずに!

良い例・悪い例

2 道糸をロッドのガイドに通す

①スピニングリールは、リールのベールアームを起し、②リールに近い順からガイドに順序良く通す。③先端のガイドまでラインを通しきいたら、ゆとりを持たせてベールアームを戻す。

ベイトリールの場合は、①親指をクラッチに載せ、下に押し込んでクラッチを切って道糸をフリーにする。②その後レベルwindに道糸を通し、先端のガイドまで通しきいたら、③こちらもゆとりを持たせ、クラッチを上げて戻すか、ハンドルを1回巻いてクラッチを戻す。

3 道糸に仕掛けをセット

8の字結びの箱掛けで道糸の先端をインターロック式、またはクリップ付きヨリモドシに結び、仕掛けを取り付ける

① 道糸を8の字結びを作る。

- ① ラインをふたつ折にする。
- ② 二重になったラインで輪を作る。
- ③ ②の輪に通す。
- ④ 輪の中に右手の人差し指を入れて1回転。
- ⑤ ④に通したラインを引っ張って締めこめば、8の字結びの完成です。
- ⑥ 取りはずしを楽にするために8の字結びをふたつ作り、ふたつ目でできた輪にインターロック付きヨリモドシを結ぼう。ひとつ目の輪を引けば、取りはずしが簡単にできるぞ。

② 箱掛けにする

- ① 8の字結びで作った輪をヨリモドシのアイに通す。
- ② 輪を開いて、ヨリモドシをくぐらせる。
- ③ 道糸を引く。
- ④ きっちり引いて、結束完了。

③ クリップに仕掛け類をセット

片テンピンは、腕先のクリップに仕掛けをセットすること。

仕掛け又は片テンピン

4 オモリを付ける

クリップ部にオモリのアイ(環)を通して止める。

※裏面は、釣るためのテクニックを紹介!!

仕掛けの投入、回収法

●スピニングリールはチョイ投げを覚えておこう

投入



幅広く探れるチョイ投げをマスターしよう。
 ベールアームを開き、スピニングリールのラインを利き手(指)でつかむ。そしてもう一方の手で仕掛けの片テンピンを持ち、船べりから乗りだすように構えて準備完了。
 後はロッドを持ち上げると同時に仕掛けと指を放すだけでOK。

回収



テンピン(オモリ)がスムーズにつかめる位置まで道糸を巻き、テンピンをつかんで行うこと。
 道糸やハリスをつかむと、オモリがブラブラし、危険なので要注意。

基本的には仕掛けを真下に落とすだけ。慌てず確実に投入しよう。
 あせて投入すると手前マツリの元。回収も落ちついて行おう。

●ベイトリールの胴突き仕掛けは…

投入



竿先を目線より、やや高め的位置に構えてオモリを持って仕掛け全体を海に出す。
 仕掛けが海面に出きたら、リールのクラッチを切り、オモリを落とせば完了。

回収&取り込み



一定のスピードで道糸を巻きあげ、仕掛けの先端が海面に見えたらストップ。オモリをつかむ態勢に入ろう。
 その後、リールを巻かず、穂先を上げてオモリをつかみ、仕掛けごと船内に入れ、再度クラッチを切ってオモリを床まで下げてから魚をハリから外す。

★釣り方のコツ: キス、カレイ編

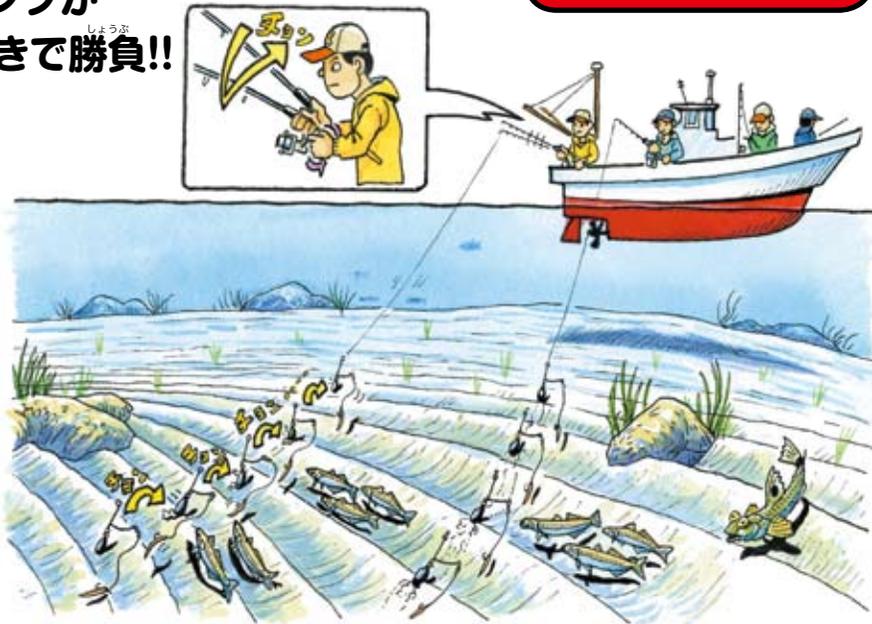
リズムカルなボトムバンプかスピーディーなズル引きで勝負!!

仕掛けを投入してボトムを確認したら糸フケを取る。

少しズル引きして、ヨブを見つけたら、そこで止めてアタリを待つことが基本だが、仕掛けを止め過ぎると、外道のメゴチが先に食ってくるが多い。20秒くらいいたら仕掛けを動かして違う場所を探してみよう。

また、チョンチョンとリズムカルに穂先を動かしながらリールを巻く“ボトムバumping”も効果的な誘いになると覚えておくこと。

ちなみにヨブは、引いてきた仕掛けが重くなったところだ。



★ポイントはココ

水深30m以浅の湾内や沿岸の砂地に棲息するシログチ。一方、カレイは水深100mまで棲息する。どちらも砂地の起伏(ヨブ)を狙うと効率良く釣れる。

★釣り方のコツ: カサゴ、メバル、イシモチ編 (シログチ)

マメな底ダチ取りが絶妙な誘いを演出

探りの基本は、竿先を上下に揺らしエサを漂わせる“リフト&フォール”となるが、船は潮に流されていく。底の地形がどんどん変わるので、マメに底ダチを取って(底を確認する)、底から仕掛けが離れ過ぎないようにすること。

マメな底ダチ取りはリフト&フォール同様、絶妙な誘いとなるので、しっかり行おう。



1 仕掛けを投入したら、素早く糸フケをとる。

2 50cm~1mくらい巻き上げ、様子を見る。

3 アタリがないようなら、底ダチを取り、再び仕掛けを50cm~1mくらい巻き上げ、様子を見る。これを何度か繰り返す。

4 アタリがやってきましたら、食い込むまで待って、ロッドに重みがかかったらアワセを入れ、そのまま巻き込んで取り込もう。

★ポイントはココ

貪欲なフィッシュイーターで、海水はもちろん、ベイト(エサとなる小魚)が集まる場所なら、川の中でも狙える。基本的にストラクチャー(障害物)に身を潜めて、食うチャンスを狙うこと。

※穂先絡みや巻き込み過ぎに要注意!

船釣りでは、気付かぬうちにラインが穂先に絡まっていることが多くある。そのままキャストしてしまったりすると事故の元。豆にチェックして快適に釣りをしよう。
 また、取り込み時の仕掛け(テンピンやビシ)の巻き込み過ぎも多く見受けられる。こちらも穂先を痛めることにつながる所以要注意。穂先の20~30cmくらい手前で仕掛けを止める癖をつけよう!



穂先絡み注意!

巻き込み過ぎ注意!

※むやみにロッドを地面に置かない!

自分はもちろん、他人にも踏まれて折れることが良くあります。ロッドを置く場合は、荷物に立て掛けるなど、竿を目立つ場所に置くように!!

カレイはヨブを攻めシェイクで誘う!!



エサをあまり追わないカレイ。だからと言って、エサに食いつくのをヨブで待っているのも能がない。こんな時は、アクションをかけて誘ってみよう。
 ロッドを小刻みに動かすシェイクが効果的だから、実践してみることに。

メバルはベタ底に固執しないこと

ロックフィッシュの仲間、そのほとんどが底で活動するが、メバルに限っては習性が異なるので注意。群れを作り、エサを求めて活発に動き回るので、底だけでなく、数m上まで探ろう。

●砂地はシログチ



タナの切り返し以外に、海底をオモリでトントン叩くような誘いも効果的。砂地からイソメ類が砂煙を立てて出てくるようなイメージで誘おう。

●岩礁帯はカサゴ



根掛かりしやすいので、素早いタナの切り返しがポイントとなる。オモリがそこに付いたら即、巻き上げて対応すること。

※かたづけ上手は、釣り上手! 返却日前日までに、しっかりお手入れを!!

レンタル釣具は、返却日まではお手入れをし、元通りに梱包しておこう。また釣具にキズを付いたり、壊してしまった場合は、その箇所をメモに残して箱の中に入れておこう。

ロッドをたたむ場合は…



バッド部の継ぎ目から順に外して行く。ジョイント部がキツク締まっている場合は、継ぎ目の部分を持ち、雑巾を絞るようにネジリながら引くとうまく抜ける。くれぐれも先端を持って外さないこと。穂先が折れてしまうぞ。